

わが国の地政学的環境・防衛政策と 宇宙安全保障

鈴木一人

東京大学公共政策大学院

我が国の地政学的な環境

- 大きく変化する安全保障環境

- 「世界一流の軍隊」を目指す中国→台湾海峡における力による現状変更の可能性
- ハイブリッド戦争と伝統的な火力、核兵器による恫喝を行うロシア
- 核の放棄を否定し、継続的にミサイル実験を行う北朝鮮
- 不確実性の高まりとハイテク兵器、ハイブリッド戦、グレーゾーン事態への対処

- 同盟国との連携強化と限界

- 経済安全保障に関する連携強化→経済版2+2、IPEFなど
- 技術開発の協力強化→Chip-4、CoReパートナーシップ
- 「自国ファースト」に潜む不確実性
- ウクライナの対応に見られる自助努力の重要性

わが国の防衛政策の課題

- 海洋監視能力の強化
 - ハイブリッド戦・グレーゾーン事態に対処するための監視能力
- 極超音速滑空弾に対するミサイル防衛
 - 軌道の定まらないミサイルに対する対処
- 無人機を活用するためのインフラ整備
 - 無人航空機、無人潜水機を活用するためにはインフラが不可欠
- ターゲティングとリアルタイムの情報収集
 - スタンドオフ能力を持つための情報収集能力の強化
- 防衛目的の研究開発の質と量の問題
 - デュアルユース技術、新興技術に対する研究開発の脆弱性

上記を踏まえた宇宙安全保障

- 「宇宙からの安全保障」: 防衛装備としての宇宙
 - 海洋監視能力の強化
 - 高時間分解能ISR衛星コンステレーション、Sigint衛星
 - 極超音速滑空弾に対するミサイル防衛
 - 米国の衛星コンステレーションとの連携
 - 無人機を活用するためのインフラ整備
 - 高性能通信衛星と秘匿信号による衛星測位
 - ターゲティングとリアルタイムの情報収集
 - 高空間分解能衛星とデータ中継衛星
 - 防衛目的の研究開発の質と量の問題
 - 宇宙関連の研究開発投資と人材育成